



2022年5月19日

各 位

会 社 名 英 和 株 式 会 社  
代 表 者 名 代 表 取 締 役 社 長 阿 部 健 治  
(コード番号 9857 東証スタンダード市場)  
本 社 所 在 地 大 阪 市 西 区 北 堀 江 4 丁 目 1 番 7 号  
問 合 せ 先 取 締 役 常 務 執 行 役 員 佃 雅 夫  
管理本部長  
(電話 06-6539-4801)

(訂正・数値データ訂正) 「2022年3月期 決算短信〔日本基準〕(連結)」の  
一部訂正について

2022年5月13日に発表いたしました「2022年3月期 決算短信〔日本基準〕(連結)」の一部に訂正すべき事項がありましたので、下記のとおりお知らせいたします。また、数値データ(XBRL)にも訂正がありましたので、訂正後の数値データにつきましても再提出いたします。

なお、訂正箇所には下線を付して表示しております。

記

訂正箇所

添付資料

- |       |                                  |
|-------|----------------------------------|
| 3ページ  | 1. 経営成績等の概況(3)当期のキャッシュ・フローの概況    |
| 11ページ | 3. 連結財務諸表及び主な注記(4)連結キャッシュ・フロー計算書 |

訂正理由

連結財務諸表のうち、「連結キャッシュ・フロー計算書」について、一部の数値に誤りがあったため、これを訂正するものであります。

なお、この訂正に伴う損益への影響はありません。

添付資料

3 ページ 1. 経営成績等の概況 (3) 当期のキャッシュ・フローの概況

<訂正前>

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当連結会計年度における財務活動による資金の減少は64百万円となりました(前連結会計年度は3億34百万円の減少)。これは、短期借入金の増加1億50百万円、長期借入れによる収入4億円があった一方で、長期借入金の返済による支出が3億31百万円、配当金の支払額が2億77百万円あったこと等によるものであります。

<訂正後>

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当連結会計年度における財務活動による資金の減少は64百万円となりました(前連結会計年度は3億34百万円の減少)。これは、短期借入金の増加1億50百万円、長期借入れによる収入5億円があった一方で、長期借入金の返済による支出が4億31百万円、配当金の支払額が2億77百万円あったこと等によるものであります。

11 ページ 3. 連結財務諸表及び主な注記 (4) 連結キャッシュ・フロー計算書

<訂正前>

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2020 年 4 月 1 日 至 2021 年 3 月 31 日)	当連結会計年度 (自 2021 年 4 月 1 日 至 2022 年 3 月 31 日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の増減額 (△は減少)	—	150,000
長期借入れによる収入	—	400,000
長期借入金の返済による支出	△126,664	△331,672
リース債務の返済による支出	△5,514	△5,514
自己株式の取得による支出	△52	—
配当金の支払額	△202,180	△277,620
財務活動によるキャッシュ・フロー	△334,412	△64,807

<訂正後>

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2020 年 4 月 1 日 至 2021 年 3 月 31 日)	当連結会計年度 (自 2021 年 4 月 1 日 至 2022 年 3 月 31 日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の増減額 (△は減少)	—	150,000
長期借入れによる収入	—	500,000
長期借入金の返済による支出	△126,664	△431,672
リース債務の返済による支出	△5,514	△5,514
自己株式の取得による支出	△52	—
配当金の支払額	△202,180	△277,620
財務活動によるキャッシュ・フロー	△334,412	△64,807

以上